

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス 多機能 オーロラ(邑侶楽)		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 15日		～ 令和6年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 14日		～ 令和6年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心感をもって通所しており、通所を楽しめるような環境作りをしている	・支援の中で職員があたたかい声かけをしている ・子どもが興味を持てるような活動をしている	・子どもの活動に対して前向きな声かけをする ・子どもが楽しんで活動できるような活動イベントを考案する
2	子どもの発達の特徴を理解して、専門性のある支援をしている	・子ども一人ひとりに合わせた支援をしている ・子どもの特性に応じて活動の内容を変えている	・子どもの発達の特徴や日々の様子を職員間で情報共有する ・様々な研修会等に参加し、職員の専門性を高める
3	日頃から子どもの様子を保護者に伝え合い、共感的な支援が行われている	・朝や帰りの送迎時に、保護者と子どもの様子を伝え合っている ・ノートを通して、子どもの活動の様子を保護者に伝えている	・保護者と子どもの様子を話し合い、保護者の悩みや困り感を解消していく ・様々な職員で子どもの様子を観察し、職員間で情報共有した内容を保護者に伝えていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアル等のマニュアルが保護者に周知されていない	・マニュアルは策定されているが、保護者に周知できていない	・利用開始前の面談や定期面談の際に、保護者へ各マニュアルの説明をする
2	支援開始前や終了後に職員間で打ち合わせができていない	・支援開始前や終了後に職員全体で集まる時間を設けることが難しい	・情報共有すべき内容をホワイトボード等にまとめ、各職員が確認する ・事業所会議の際に支援の内容について打ち合わせを行う
3	保育所や認定こども園、幼稚園等地域の子どもの活動する機会がない	・地域の子どもの参加するようなイベントに参加できていない ・近隣の保育所や認定こども園、幼稚園等と交流できる機会を設けていない	・風の子保育園等近隣の保育所や認定こども園、幼稚園と相談して交流できるようなイベントを企画する ・地域で行われている行事に子どもと一緒に参加する